

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		芸術・芸能支援育成				所管	文化産業観光部 文化振興課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	47	計画事業名	芸術・芸能支援育成			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (2)新たな文化の創造と発信							
		[施策] ① 新たな文化の創造[19]							
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	アートアドバイザー会議設置要綱、台東区芸術文化支援制度実施要綱				
	事業対象	若手及び先駆的な芸術文化活動を行う芸術家や芸術団体、区民							
	事業目的	文化政策への芸術家等の参画及び若手や先駆的な芸術文化活動を行う芸術家等の支援・育成を行い、区の芸術文化の振興を図る。							
	事業内容	分野の異なる芸術家や専門家等で構成される「台東区アートアドバイザー会議」を設置し、台東区が行う芸術支援の方向性などを検討していく。また、先駆的な芸術文化活動に対する台東区芸術文化支援制度を実施し、芸術家等の支援及び育成を図る。							
委託の有無	一部委託		委託内容	新聞広告掲載委託					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	アートアドバイザー会議等開催回数 (回)		15	18	16	14		
	成果指標	支援対象事業件数 (件)		-	5	4	6		
	決算額 (単位：千円)				4,246	4,156	3,808		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			10,351	10,413	8,948		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			545	436	387		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			3,701	3,720	3,422		
		総経費			14,597	14,569	12,757		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0				
一般財源 (区負担額)			14,597	14,569	12,757				
前年度から改善した事項		チラシの配布場所を増やすなど、引き続き支援制度の周知を図るとともに、審査方法・基準等について改めて協議を行い、広報物や募集案内などの表記について、よりわかりやすく伝わるよう見直しを行った。また、今までに支援制度の企画を実施したことのない地域での実施企画を採択し、区内全域での芸術文化の活性化に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	先駆的な芸術文化活動支援は営利目的の民間企業等では行われにくく、区の文化振興のためには行政がまず実施することが必要である。						
	効率性	3	芸術文化支援制度は、平成19年度に実施したモデル事業およびアドバイザー会議での検討結果を踏まえた制度であり、企画内容のみならず、収支計画・実績を精査するなど、効率的に実施している。						
	手段の適切性	3	芸術文化支援制度は台東区アートアドバイザーの専門的見地に基づいた助言のもとに実施されており、芸術家への育成・支援について十分な体制を整えている。						
	目的達成度	3	支援制度では25年度は演劇、ダンス、映像、音楽、区内のアーティストを発掘する企画など、幅広いジャンルの企画を支援・実施した。区民に対しても、新たな芸術文化に触れる機会を提供することができた。区内の文化振興に寄与しているものと考えている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
今後芸術文化支援制度を拡大・充実させることにより、芸術家等が区内で芸術文化活動を行うことのモチベーションを高めるとともに芸術家等を育成し、結果として区内の芸術文化活動のさらなる活性化が期待できる。これにより文化のまち台東区を区内外に向けて広く発信することができ、区の魅力創出につながっていく。						拡大			